

2008年5月8日  
アイエヌジー投信株式会社

## 『R&I ファンド大賞 2008』受賞

アイエヌジー投信株式会社(本社: 東京都千代田区)が設定運用するファンドが、『R&Iファンド大賞2008』において「優秀ファンド」賞を受賞しました。

この度受賞したファンドは、「アイエヌジー・日本債券オープン【愛称: ヨール・ファンド】」で、同ファンドは投資信託 国内債券型部門と、確定拠出年金 国内債券型部門において、ダブル受賞をしております。

### 投資信託

部門	賞	ファンド名称	ファンド愛称	運用会社名
国内債券	優秀ファンド賞	アイエヌジー・日本債券オープン	ヨール・ファンド	アイエヌジー投信株式会社

### 確定拠出年金

部門	賞	ファンド名称	ファンド愛称	運用会社名
国内債券	優秀ファンド賞	アイエヌジー・日本債券オープン	ヨール・ファンド	アイエヌジー投信株式会社

アイエヌジー・日本債券オープン (愛称:ヨール・ファンド)

日本経済新聞掲載名: 日本債券

ファンドの特色

1. 日本国債を中心に投資  
主に日本国債を中心に投資します。少数銘柄に偏ることなく分散投資に留意し、安定した収益(インカム・ゲイン)の確保と信託財産の着実な成長を目指します。
2. 格付を重視  
金融債、社債に投資する場合には格付を重視し、原則として投資適格債(BBB 格以上)に投資し、ファンドの平均格付を A 格以上に維持します。
3. ベンチマーク  
シティグループ日本国債インデックス

●選考方法

「投資信託」、「投資信託／総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金」は『R&I ユニバース計測サービス』に登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。

選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「確定給付年金」では 2006、2007、2008 年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位 75%に入っているファンドに関して、2008 年 3 月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」では"シャープ・レシオ"を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定日まで1年以上の期間を有し、残高が 10 億円以上かつカテゴリー内で上位 75%以上の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では定量評価として"インフォメーション・レシオ"を採用している。

※シャープ・レシオ

短期確定金利商品に対するファンドの超過収益率を収益率の標準偏差(リスク)で割った値。リスク1単位当たりの超過収益率を示す。

※インフォメーション・レシオ

ベンチマークに対するファンドの超過収益率(アクティブリターン)を超過収益率の標準偏差(アクティブリスク)で割った値。ベンチマークと比較して取ったリスク1単位当たりの超過収益率を示す。

上記記載内容は R&I が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。「R&Iファンド大賞」は、過去のデータに基づいたものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、投資の参考となる情報を提供することのみを目的としており、投資家に当該ファンドの購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、当社の顧客に対して提供している定性評価情報とは関係ありません。当大賞は信頼すべき情報に基づいて格付投資情報センターが算出したものであり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されていません。当大賞に関する著作権その他の権利は、格付投資情報センターに帰属します。当社の許諾無く、これらの情報を使用(複製、改変、送信、頒布、切除を含む)することを禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーについては、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、必ずしも受賞運用会社の全ての個別ファンドそれぞれについて運用実績が優れていることを示すものではありません。投信の基準価額等は QUICK 調べ。

## お客様にご負担いただく費用

### お客様に直接ご負担いただく費用

#### 申込手数料

お申込日の基準価額に対して上限0.525%（税抜き0.500%）を乗じた額とします。（注）

※＜自動引き落とし投資コース＞を選択された受益者が収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

（注）販売会社により異なりますので、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

### 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

#### 信託報酬

保有している期間の純資産総額に対し年率0.5775%（税抜き0.550%）。

#### その他の費用

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。（その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことはできません。）

## 主なリスクおよび留意点

当ファンドは、主として「アイエヌジー・日本債券マザーファンド」を通じて、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割込むこともあります。ファンドの投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

下記は、主なリスクおよび留意点であり、当ファンドに係るすべてのリスクを網羅しているわけではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

### ○価格変動リスク

株式や債券等の有価証券は経済動向、市況動向および企業の意思決定等によりその価格が変動します。特に、成長性の高い企業や成長性の高い業種については価格変動リスクが大きくなる傾向があります。

### ○金利リスク

一般的に金利が上昇した場合には債券価格が下落します。債券を保有している場合、ファンドの基準価額を下げる要因になります。

### ○信用リスク

株式や債券等の発行企業等が債務不履行になった場合、当該企業等の株式や債券等の価格は大きく値下がりし、または、全く価値のないものになる可能性があります。発行企業の倒産、財務状況・信用状況の悪化等の影響により有価証券の価格が下落するとファンドの基準価額の下落要因になります。

### ○流動性リスク

株式や債券等の有価証券を売買する場合、その相手方が存在しなければ取引が成立しません。特に、発行量の少ない場合や、多くの有価証券が長期保有の意思をもって保有されており流通量が少ない場合等、ファンドが最適と考えるタイミングで売買できない可能性があります。この場合、享受できるべき値上がり益が少なくなったり、または、被る損失が増加したりする可能性があります。

#### ○カントリーリスク

一般に有価証券への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。そのため、投資対象有価証券の発行国の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融・資本市場が混乱し、資産価値が大きく変動することがあります。

#### ○解約資金の流出に伴うリスク

大量の解約資金を手当てするために保有有価証券等を売却する場合、ファンドの基準価額に影響を与える場合があります。

#### ○換金性が制限される場合

通常と異なる状況において、ご換金に制限を設けることがあります。取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、ご換金の申込みの受け付けを中止することがあります。

#### ING インベストメント・マネジメントについて

ING インベストメント・マネジメントは、オランダ生まれの世界的金融機関であるING グループの資産運用部門の総称で、世界31ヶ国以上に拠点を構えグローバルに業務を展開しており、その運用資産総額は4,000億ユーロ超(約64兆円、2007年12月末現在)に上ります。日本の拠点であるアイエヌジー投信株式会社は、ING インベストメント・マネジメントの運用商品を日本国内にて公募・私募投資信託として設定し、日本の投資家の皆様へお届けすることを目的に、1999年9月に設立され、投資信託の委託会社としての業務や、投資一任契約に係る業務、投資助言業務を行っています。